

大月一真 学位論文審査要旨

主 査 藤 原 和 典
副主査 藤 井 進 也
同 飯 野 守 男

主論文

Development of new formulas for sex and age estimation by assessing maxillary sinus morphology on CBCT

(CBCTを用いた上顎洞形態評価による性別・年齢推定の新式の開発)

(著者：大月一真、小谷勇、Dawa Zangpo、中留真人、飯野守男)

令和5年 Yonago Acta Medica 66巻 112頁～119頁

参考論文

1. Spindle cell/pleomorphic lipoma of the cheek: A case report

(頬部紡錘形細胞・多形性脂肪腫：症例報告)

(著者：吉田優、田村隆行、田窪千子、大月一真、土井理恵子、小谷勇)

令和元年 Oral Science International 16巻 35頁～39頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は上顎洞の形態をCBCT画像撮影にて評価し、形態的特徴から年齢推定を行うことの有効性について検討を行ったものである。CBCT画像により上顎洞を高径、前後径、幅径、容積にわけて多角的に形態評価を行った。その結果、男女間で上顎洞の形態、特に左上顎洞高径に有意な性差を認め、今後、上顎洞を利用した性別鑑別の可能性を示した。また、上顎洞の形態をもとに男女別に年齢推定式を作成し、本推定式を用いることで広範な年齢層にわたり正確な年齢推定を行うことが可能であることを示した。年齢を含めた個人情報不明な者を個人識別するうえでの新たな指標となりうる本研究は、法医学的な見地から学術水準を高めたものであると認める。